

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) タカサキケイザイダイガク	フリガナ) チイキセイサクガクブ	フリガナ) モリチカコゼミナール
高崎経済大学	地域政策学部	森周子ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ヴォーンゲルト	フリガナ) オカバタクマ	4	無	
うおーんげると	岡部拓磨			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

なし

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

生活保護捕捉率の上昇をめざして～住宅手当という選択～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

日本の生活保護制度の捕捉率が、諸外国と比較してとても低いことは無視できない課題である。そこで、新しい社会手当制度をつくり、生活困窮者を減らすことで生活保護制度の捕捉率の上昇を目指すことを目的とした研究である。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

日本の生活保護制度の捕捉率は 15.5%と非常に低い数字となっており、諸外国の公的扶助制度の捕捉率の数値と比較しても、圧倒的に低い。これでは、セーフティネットとしての機能を十分に果たせていないと言える。

日本で生活困窮者に行われている支援は、生活保護制度以外にも存在するが、それらが相補的に機能しておらずすべての生活困窮者に支援が行き届いていないのが現状である。

3. 研究テーマの課題

生活保護制度の捕捉率が低い原因としては、ミーンズテストが厳しいことや生活保護に対するスティグマなどがあると私たちは考える。そのため、最低生活水準以下の収入でありながら生活保護を受けていない人が多い。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

上述の問題を解決するため、私たちは住宅手当制度を新設し、生活保護制度の捕捉率の上昇を目指すことを提案する。この制度を新設することで、生活困窮者の母数を減らすことができ、生活保護制度の捕捉率を相対的に上げることが可能であると考える。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

文献やインターネット上の資料を用いて生活保護制度・社会手当制度について学び、住宅手当制度の具体的な給付基準・給付額の設定を行った。

6. 結果や今後の取り組み

日本の社会保障制度における課題に目を向け、その解決策について若干ながら探求することができたと考えている。今回の提案では住宅手当制度を新設するにあたり、新たに必要となる金額の試算までを行った。そのため、財源の確保に対しては検討が不十分であるといえる。今後は住宅手当制度に必要な財源の確保手段や制度新設後の効果について検討することを課題とし、取り組んでいきたい。

7. 参考文献

OECD (2017) PH3.1 PUBLIC SPENDING ON HOUSING ALLOWANCES(最終閲覧日 2018-9-13)
<http://www.oecd.org/els/family/PH3-1-Public-spending-on-housing-allowances.pdf>

厚生労働省 生活保護制度(最終閲覧日 2018-9-7)
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/seikatsuhogo/seikatuhogoo/

国立社会保障・人口問題研究所社会保障費用統計（平成 27 年度）(最終閲覧日 2018-9-20)
http://www.ipss.go.jp/ss-cost/j/fsss-h27/fsss_h27.asp

総務省統計局統計調査部国勢統計課労働力人口統計室 平成 24 年就業構造基本調査(最終閲覧日 2018-9-7)
https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00200532&tstat=000001058052&cycle=0&tclass1=000001060135&tclass2=000001060137&stat_infid=000021431007

年収ガイド 全国市区町村 所得(年収)ランキング 2017 年(最終閲覧日 2018-9-13)
https://www.nenshuu.net/prefecture/shotoku/in_shotoku_city.php

土田武史編著(2015)『社会保障論』成文堂

戸室健作(2016)「資料紹介 都道府県別の貧困率、ワーキングプア率、子どもの貧困率、捕捉率の検討」、『山形大学人文学部研究年報』13, p33-53 山形大学.

尾藤廣喜 吉永純 小久保哲郎(2011)『生活保護「改革」ここが焦点だ！』あけび書房

藤田孝典 金子充編著(2010)『反貧困のソーシャルネットワーク実践 NPO「ほっとポット」の挑戦』明石書店

藤田孝典(2016)『貧困世代』講談社

<企画シート作成上の注意>

- ※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。
- ※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経 BP マーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。
- ※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。
- ※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。
- ※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。
- ※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。
- ※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください